



浜田市内 幼稚園・小学校

浜田市教育委員会 生涯学習課

特色ある自然体験活動実施事例

学校	学年	教科等	活動名・単元名	めあて・目標	頁
石見幼			畑で野菜を育てよう	季節ならではの野菜を種や苗から育て、収穫の喜びを味わう。	1
長浜幼			熱田ビーチで遊ぼう	・身近な海岸のゴミを拾うことで自然を大切にしようという気持ちをもつ。 ・海辺での遊びやジェットスキーの乗船体験を楽しむ。	2
美川幼			カヌー体験をしよう	・海辺の自然に触れ、いろいろな発見をしながら遊ぶことを楽しむ。 ・カヌーに乗る楽しさを知ったり、波を感じたりして海で遊ぶことを楽しむ。	3
原井小	2	生活科	生きものとなかよし	生きものとふれあうことで、生きものへの親しみをもち、生きものを大切にしようとする心情を育む。	4
	4	総合	浜田の魅力を伝えよう	浜田の海の魅力を知ろう ・浜田の海での魚釣りを通して、浜田の海の魅力を発見する。	5
	6	理科	大地のつくり	浜田の大地(置ヶ浦・長浜丘陵)のつくりに興味・関心をもち、大地のでき方や特徴についての理解を深める。	6
雲雀丘小	全	総合	いちごの収穫体験をしよう	いちごの収穫体験を通して、栽培の特色や地域のよさを知る。	7
松原小	2	図工	馬の絵を描こう	実際に馬を見たり、触ったりすることで馬に親しみをもち、絵に表すことができる。	8
石見小	2	生活科	さつまいもを育てよう	さつまいもを育てることを通して、自然へ興味をもち、栽培活動の楽しさを味わう。	9
	4	総合	紙漉き体験をしよう	・和紙の原料や作り方を知る。 ・実際に紙すき体験をして、作り手のやりがいや苦労を知る。	10
	特	自立生単	野菜を育てよう	・夏野菜づくりを通して、栽培活動の楽しさを味わう。 ・野菜の販売活動を通し、積極的に他者と関わろうとする態度を養うとともに、コミュニケーション能力を高める。	11
美川小	5	総合社会	森林の秘密を探ろう	林業に携わる人から話を聞いたり、実際に間伐体験をしたりすることを通して、森林の役割を知るとともに、森林を大切に守っていこうとする心情を育てる。	12
周布小	4	総合	周布川沢登り	周布川での観察や源流地点までの沢登りを通して、水の循環や川の多様な自然を体感し、友だちと協力して難関を乗り越える。	13
長浜小	特	生単自立	さつまいもを育てよう	・自分たちの畑でさつまいもを栽培する。 ・収穫したさつまいもを販売する。	14

※ 総合：総合的な学習の時間

※ 特：特別支援学級、自立：自立活動、生単：生活単元学習

※ 国府小学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、実践事例の報告がありませんでした。

令和2年度 自然体験活動推進事業

特色ある自然体験活動実施事例

学校	学年	教科等	活動名・単元名	めあて・目標	頁
三階小	2	生活科	野あそび 川あそび	・身のまわりの自然や生き物に関心をもつ。 ・友達と協力して、植物あそびや生き物さがしを楽しむ。	15
雲城小	5	総合	藻塩づくり体験	地元、浜田の港で海にかかわる仕事について知る活動を通して、ふるさと浜田に対する愛着を深めたり、ふるさとの良さに気づいたりする。	16
今福小	1	生活科	秋のなかよし 大作戦	・生き物と触れ合い、世話をする活動を通して、生き物に愛着をもつことができる。 ・夢の音村で見つけた植物を観察したり比べたりしながら、その特徴に気付き、身近な自然を楽しむことができる。	17
波佐小	全	社会科 家庭科 生活科 総合	田植え 稲刈りと脱穀 そぐる 注連縄作り 新米を食べよう会	地域の人々と直接関わることを通して、ふるさとの自然や生活、歴史は人々の協力によって支えられていること、自然環境と結びついて営まれていること、人々の工夫や努力により守られながら変化していることを理解し、ふるさとを大切に育てる。	18
	全	体育	スキー教室	○6年間を通してスキーの技能を習得する。 ○雪の上で楽しく活動し、元気な体をつくる。 ○助け合う気持ち・挑戦する気持ちを育てる。 ○ふるさとの自然の恩恵や地域の方々の支援・協りに感謝する心を育てる。	19
旭小	2	生活科	川の生き物を見つけよう	動物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、親しみを持って生き物を大切にしようとすることができるようにする。	20
弥栄小	全	課外	子どもの遊び場	銀杏の木のブランコやロープを使った綱渡りなど豊かに外遊びを体験する。	21
三隅小	2	生活科	大きくなあれ わたしの野さい	身近な野菜の栽培に関心をもち、自分たちで調べたり人に聞いたりしながら大切に世話をすることで、成長していることに気付くとともに、愛着をもって継続的に育てることができるようにする。	22
岡見小	特	自立	染物をしよう	身近にある植物で染物をするを通して、自然に興味を持とう。また、それらの活動を通してコミュニケーションを図ろう。 もっと仲良くなりたい気持ちを伝えるために染物を友達に贈ろう。	23

※ 総合：総合的な学習の時間 課外：課外活動

※ 特：特別支援学級、自立：自立活動、生単：生活単元学習

学校・園名		浜田市立石見幼稚園
学年	教科等	活動名
		畑で野菜を育てよう
めあて・目標		季節ならではの野菜を種や苗から育て、収穫の喜びを味わう。
関係機関・団体等		
活動の概要（期日、場所等を含む）		
5月	園庭（プランター）	夏野菜の苗を植える
6月 3日	園庭ミニ畑	じゃが芋の収穫
6月24日	園庭ミニ畑	サツマイモの苗植え
9月10日	高佐町の畑	大根の種まき・じゃが芋の種芋植え
10月16日	高佐町の畑	野菜の見学・草抜き体験
11月 4日	園庭ミニ畑	サツマイモの収穫
11月10日	高佐町の畑	大根・じゃが芋の収穫
11月13日	園内	干し大根作り
年間を通して、園庭のミニ畑やプランターに水やりをしたり、草抜きをしたりしながら、間近に日に日に生長する野菜の様子を観察し、収穫する。収穫した野菜は順次家庭に持ち帰り、その季節ならではの作物を家族で味わう。 高佐町の畑には3回出かけて行き、畑での野菜の生長を見学し野菜の名前を知り、秋の収穫時期には猪などの動物除けの対策方法も教わる。この活動を継続して行う中で、身近な畑にも猪などの動物が表れることを知ったり、作物を守るためには動物除け対策の必要性があること知ることとなった。 収穫した大根は一部で干し大根作りをし、残りを家庭に持ち帰り家族と食べる。		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
野菜の栽培において必要な土づくりや水やり、草抜きなど園児なりに体験できるように当番活動なども取り入れながら行った。大根の小さな種を植えることから活動を開始し、2ヶ月で大きく生長する感動を味わえるように、広い畑で栽培させていただいた。 干し大根作りでは、大根にひもを通す際箸を使って穴をあけるなど、園児の行いやすい作り方を工夫した。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
初めは土を触ることに消極的な様子だった園児も回を重ねたり、水やりや草抜きの当番活動などを通して、畑での活動に積極的に取り組む姿が見られるようになった。収穫物を園内で調理できなかったため、家庭に持ち帰り食するようにしたため、家庭での取り扱いによって違いも見られた。調理方法なども知らせたり、保護者へ目的などの周知をする必要を感じた。		



学校・園名		浜田市立長浜幼稚園	
学年	教科等	活動名	
		熱田ビーチで遊ぼう	
めあて・目標		・身近な海岸のゴミを拾うことで自然を大切にしようという気持ちをもつ。 ・海辺での遊びやジェットスキーの乗船体験を楽しむ。	
関係機関・団体等		浜田ライフセービングクラブ	
活動の概要（期日、場所等を含む）			
期 日	令和2年7月2日（木） 9：30～10：30		
場 所	熱田海岸		
内 容	9：30～ 熱田海岸のゴミ拾いをする。 9：40～ 集合する。 始めの挨拶 浜田ライフセービングの方の紹介 ビーチフラッグスをする。（クラスごとに） ジェットスキーに乗船する。 集合写真を撮る。 10：30～ 集合する。 終わりの挨拶		
			
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）			
・6月後半から熱田海岸で遊ぶ活動を計画し、毎回ゴミ拾いから始めることで、身近な海を大切にしようという気持ちがもてるようにした。 ・当日までに海辺での経験を重ねることで、安心して取り組むことができ、活動への意欲を高めることができた。 ・子どものつぶやき 「ジェットスキーで右に曲がるところがおもしろかった。」 「カモメも（みんなのことを）応援しているね。」 「波が来た時にジャンプしたらボトン！って聞こえたよ。」			
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等			
・ゴミ拾いをするのが当たり前になってきており、意欲的にゴミを見つけようとする子どもが増えた。 ・身近な海岸に親しみの気持ちを持ち、活動への期待感が膨らんでいった。 ・ジェットスキーの乗船体験をし、普段できない水上を走るという体験ができて、大いに喜んでいた。			

学校・園名		浜田市立美川幼稚園
学年	教科等	活動名
		カヌー体験をしよう
めあて・目標		・海辺の自然に触れ、いろいろな発見をしながら遊ぶことを楽しむ。 ・カヌーに乗る楽しさを知ったり、波を感じたりして海で遊ぶことを楽しむ。
関係機関・団体等		浜田市三隅B&G海洋センター
活動の概要（期日、場所等を含む）		
○期 日 令和2年9月16日（水） ○場 所 浜田市三隅町 田ノ浦海岸 ○活 動 ・ゴミ拾いをする。 ・ライフジャケットを着る。 ・海での約束について話を聞く。 ・準備体操をする。 ・カヌーに順番に乗る。 ・海遊びをする。 ・片づけをして着替える。		
		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・下見をし、浜の状態を把握する。また波の高さ水温、海に入る時間や範囲を検討する。 ・遊ぶ範囲がわかるように目印のコーンを置く。 ・潮の香りや風、波を身体全体で感じている様子に共感する。 ・海や波を怖がっている幼児には楽しめることを探しながら徐々に活動につなげていく。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・波を使って上手に波打ち際に浮かんで流されて行くことを楽しむなど、波や海の気付きを遊びにつなげていた。 ・潮風を感じたり、海の塩辛さを感じたり五感を使って海に親しむことができた。 ・海遊びやカヌーに乗る楽しさを十分に感じ進んで関ることができるようになった。		

学校・園名		浜田市立原井小学校
学年	教科等	活動名
2	生活科	生きものとなかよし
めあて・目標		生きものとふれあうことで、生きものへの親しみをもち、生きものを大切にしようとする心情を育む。
関係機関・団体等		金城ウエスタンライディングパーク
活動の概要（期日、場所等を含む）		
○11月19日（木） 金城ウエスタンライディングパーク（浜田市金城町久佐1390-8）を訪問し、乗馬や馬とのふれあい（ブラッシング、餌やり等）体験を行った。		
  		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
馬について知ってはいても、実物に触れたり、その生態について正しく理解したりする児童は多くはない。そこで、馬の大きさや生態、触れる際に気をつけること等を事前に指導し、馬についての図鑑や資料を手にとれるようにしておくことで、児童の興味関心を高めるようにした。 児童の実態や配慮事項等について施設の専門スタッフと事前に打ち合わせを十分に行い、共通対応がとられるようにした。 馬に興味はあっても直接触れることを躊躇する児童には、無理強いせず友達が触れ合う様子を見せたり、カップに入れた餌をやるよう促したりして不安感を取り除くよう配慮した。 安全かつ目的を達成するよう流れを吟味し、担任以外に3名の引率者と施設スタッフを増員して全体指導と個別対応に心がけた。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
「馬は大きいが、とても臆病な動物だから…。」と、馬の生態や注意事項を専門家から具体的に聞くことで、ルールやマナーを守り、進んで関わろうとする姿が見られた。 一人一人がブラッシングを体験することで、馬の大きさやぬくもりを実感し、やさしく言葉かけをしながら餌やりをしていた。 「家族でまた来たい。」と、口々に感想を述べており、充実感でいっぱいの活動になった。 活動時間が短かった。馬のコンディションもあり、全員が乗馬体験をするためにかなりの時間を要した。2グループに分けて活動する等の限られた時間で十分に触れ合えるよう検討する必要がある。		

学校・園名		浜田市立原井小学校
学年	教科等	活動名
4	総合的な学習	浜田の魅力を伝えよう
めあて・目標		浜田の海の魅力を知ろう ・浜田の海での魚釣りを通して、浜田の海の魅力を発見する。
関係機関・団体等		渚の交番be [浜田ライフセービングクラブ・浜田の海で生活する会]
活動の概要（期日、場所等を含む）		
○10月13日（火） 渚の交番beのスタッフの方の指導のもと、瀬戸ケ島の海で釣りをした。浜田の海で釣りをすることで、浜田の海の魅力を知ることが目的で行った。 釣竿、えさを用意してもらい、サビキ釣りを行った。安全を守るため、ライフジャケットを着用した。		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
浜田市の海の課題を事前に調べることで、「浜田の海を大切にしていこう」という思いをもつ児童がいた。そして、さらにその課題を解決するためにどうしたらいいか話し合いを行うことで、「浜田の海の魅力を伝えよう」という最終的な目標をもち、そのために「浜田の海の魅力を知ろう」という、この活動のめあてを自分たちで作れるようにした。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
釣りをしたことがない児童がたくさんいたため、「釣りの楽しさ」「さらにそんな楽しい釣りができる浜田の海っていいな」という思いをもつ児童がたくさんいた。最終的には新聞を作り、浜田の海の魅力を伝える新聞をゆめタウンに掲示することができた。 実際に市民の方々に浜田の海の魅力が伝わったかどうかを確認することができないため、自分たちの活動がどれだけ効果があったかを確かめることができなかった。自分たちの活動の結果を確かめる手段を考える必要がある。		

学校・園名		浜田市立原井小学校
学年	教科等	活動名
6	理科	大地のつくり
めあて・目標		浜田の大地（畳ヶ浦・長浜丘陵）のつくりに興味・関心をもち、大地のでき方や特徴についての理解を深める。
関係機関・団体等		島根県地学学会 会長 桑田龍三 氏
活動の概要（期日、場所等を含む）		
○10月13日（火） 畳ヶ浦 島根県地学学会長桑田龍三氏の指導のもと、流れる水の働きでできた畳ヶ浦の地層の様子や海底が隆起した大地での化石を観察する。		
 		
○10月27日（火） 長浜丘陵 世界的にもめずらしい黄長石霞石玄武岩について桑田龍三氏の説明を受けたのち、黄長石霞石玄武岩の露頭を観察する。		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
当日の体験活動の内容を講師と打合せ、事前学習として、水の働きや火山の働きによる地層のでき方やそれぞれの地層をつくっている物について予想したり、資料で調べたりすることを通して、大地のつくりについての興味関心を高め、見通しをもって体験活動に臨むことができるようにする。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
教科書や書籍、デジタルコンテンツ（映像・動画）での事前学習を通して、児童は課題意識や体験活動への見通しをもって体験活動に参加することができた。実際の体験活動では、発見したことや疑問に思ったことを講師に質問するなど、意欲的に学習することができた。事後学習では、学んだことを写真等を用いてレポートにまとめることができた。		

学校名		浜田市立雲雀丘小学校
学年	教科等	活動名
全校	生活科 総合	いちごの収穫体験をしよう
めあて・目標		いちごの収穫体験を通して、栽培の特色や地域のよさを知る。
関係機関・団体等		きんた農園 ベリーネ
活動の概要（期日、場所等を含む）		
期日：令和3年1月21日 場所：きんた農園 ベリーネ 1 まず、栽培されているいちごの品種と、収穫の仕方について学んだ。		
 		
2 続いて、実際に収穫体験をした。		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・収穫体験を中心に行いしっかり楽しませることで、魅力ある場所として印象づけられるようにした。 ・花や葉の観察も併せて行うことで、品種による違い等に気づかせ、いちごに対する興味・関心を高められるようにした。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
・家族でまた来たいという児童の声が複数聞かれ、浜田の魅力を積極的に享受したいという姿が見られた。 ・地域に出かけて体験活動を行うことは、地域のよさをより実感できるとともに、関わってくださる方々の優しさに触れることができる、貴重な時間となった。		

学校・園名		浜田市立松原小学校
学年	教科等	活動名
2	図工	馬の絵を描こう
めあて・目標		実際に馬を見たり、触ったりすることで馬に親しみをもち、絵に表すことができる。
関係機関・団体等		かなぎウエスタンライディングパーク
活動の概要（期日、場所等を含む）		
期日	令和2年9月24日（木）	
場所	かなぎウエスタンライディングパーク（浜田市金城町久佐イ1390-8）	
活動内容	実際に馬を見たり、触ったりすることで馬に親しみをもち、	
		
期日	令和2年9月30日（水）	
場所	浜田市立松原小学校	
活動内容	馬の大きさや様子について写真を使いながら振り返り、絵に表現する。	
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
事前に馬の大きさや食べているもの、様子について、子どもたちが知っていることや思っていることを話し合っておいた。馬の大きさを実感するために乗馬をしたり、馬の肌の色や毛並み、骨格など知るためにエサやりをしたりした。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
事前の話し合い、また実際に乗馬等を行うことで馬について詳しく知ることができた。絵に表す際には、楽しかった思いを表すだけでなく、子ども同士で話しながら、馬の肌の色や毛並み、骨格など学んだことを思い出しながら描くことができた。また、馬の成長や命の尊さにも気づくことができた。		

学校・園名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	活動名
2	生活科	さつまいもを育てよう
めあて・目標		さつまいもを育てることを通して、自然へ興味をもち、栽培活動の楽しさを味わう。
関係機関・団体等		
活動の概要（期日、場所等を含む）		
・ 5月中旬：さつまいもの苗を植える（学級園） どう植えたらいいかを尋ね、植え方を確認する。 ・ 11月下旬：いもほり（学級園） どんな風に育っているかを想像させる。 （いものでき方・いくつくらいできているか等） ・ 12月中旬：焼きいも会（校庭） 焼きいもをする手順を確認し、準備をする。 できた焼きいもをみんなで食べる。 ・ それぞれの活動後には、ふりかえりをし、次の活動につなげられるようにした。		
   		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・ 国語「サツマイモの育て方」の学習と関連付け、さつまいもの育て方やでき方を学習した。 ・ 植えた後には、どんなお世話をすると良いかを、子どもと話し合い決めた。 （毎日水やりをする・草取りをする等） ・ 「どうなんだろう」と子どもに投げかける発問を多くし、子どもの自発性を促した。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・ 毎日水やりをする中で、「草が生えてきたから抜かないと」「葉が黄色くなっている」等の発言が多く見られた。時間があると、草抜きをする子どもの姿が見られた。 ・ 自分から図書館へ行き、本で調べたり、お家で聞いてきたりする子どもが増えた。 ・ 焼きいも後、「家でも育てたい」とふりかえりに書いている子どもが多くいた。		

特色ある自然体験活動実施事例

学校・園名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	活動名
4	総合的な学習の時間	紙漉き体験をしよう
めあて・目標		・和紙の原料や作り方を知る。 ・実際に紙すき体験をして、作り手のやりがいや苦勞を知る。
関係機関・団体等		石州和紙会館
活動の概要（期日、場所等を含む）		
事前の活動 ・和紙と洋紙の比較 ・和紙に関する調べ学習 ・疑問点や不明点の確認 和紙会館見学 ・和紙に関するビデオ視聴・質問 ・館内見学 ・紙すき体験 事後の活動 ・学んだことをもとにした新聞づくり ・お礼の手紙作成		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・導入で和紙と洋紙を比較したことで、和紙の特徴や良さが際立った。 ・読み手を強く意識した新聞づくりを行ったことで、一人ひとりが工夫した新聞を作成することができた。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・実際に紙すき体験することでしか知り得なかった考えや思いを子どもたちの新聞から見て取ることができた。		

学校・園名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	活動名
特別支援学級	自立活動 生活単元学習	野菜を育てよう
めあて・目標		- 夏野菜づくりを通して、栽培活動の楽しさを味わう。 - 野菜の販売活動を通し、積極的に他者と関わろうとする態度を養うとともに、コミュニケーション能力を高める。
関係機関・団体等		
活動の概要（期日、場所等を含む）		
4月：畑の整備 5月：苗植え - 水やり - 草抜き - 支柱設置 - わき芽とり 7月：収穫 - 販売		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
- 苗を植えたあとには、生活科や理科の学習と関連付け、育ち方や苗の様子を観察した。 - 昨年度の野菜作りの経験を上級生から下級生に伝えたり、育て方のコツについて調べた児童が全体に教えたりする場面を設定することで、児童同士の関わり増やすとともに、主体的な活動となるよう促した。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
- 世話をしながら苗の観察をし続けたことで、「葉に小さい毛が生えている」「野菜の種類によって花の色がちがう」など、多くの発見をすることができた。また、悪天候時には苗の状態を心配する声も聞かれ、小さな命を大切にしようとする気持ちが感じられた。 - 草ぬき、水やり、支柱の設置、わき芽取りなど、実際に自分たちでお世話をするを通して、野菜作りの大変さを感じることができた。 - 収穫した野菜は、自分たちで味わうだけでなく、販売活動も行った。多くの方に買っていただき、収穫の喜びや人に喜んでもらう経験が活動の充実感につながった。		

学校・園名		浜田市立美川小学校
学年	教科等	活動名
5	総合的な学習の時間・社会	森林の秘密を探ろう
めあて・目標		林業に携わる人から話を聞いたり、実際に間伐体験をしたりすることを通して、森林の役割を知るとともに、森林を大切に守っていこうとする心情を育てる。
関係機関・団体等		たばせ屋
活動の概要（期日、場所等を含む）		
2月8日（月）、浜田市田橋町にある「たばせ屋」さんにおいて、間伐体験学習を行った。一人一人にのこぎりが貸与され、ヘルメットを装着して森林に入って、実際に間伐の作業をさせてもらった。その後で、場所を移動して間伐材を使ったコースターを全員が作成した。最後に森林の役割や林業の仕事内容などについて話を聞き、質問にも答えていただいた。（講師さん2名）		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・児童が気付いたことをメモする時間を取り、必要なことをまとめる活動を加えた。 ・話を聞くだけでなく、実際に体験することに重点を置いた。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・普段から何気なく使っている森林由来の物（机、鉛筆、紙製品など）を、これまで以上に大切にしていきたいという思いを持つ児童が増えた。 ・地域の自然環境の素晴らしさを知り、ふるさとを誇りに思う児童が増えた。		

特色ある自然体験活動実施事例

学校・園名		浜田市立周布小学校																		
学年	教科等	活動名																		
4	総合的な学習の時間	周布川沢登り																		
めあて・目標		周布川での観察や源流地点までの沢登りを通して、水の循環や川の多様な自然を体感し、友だちと協力して難関を乗り越える。																		
関係機関・団体等		若生まなびや館 周布公民館																		
活動の概要（期日、場所等を含む）																				
行き先 浜田市金城町波佐 若生まなびや館 期 日 令和2年7月17日（金） 《予備日7月20日（月）》 日 程 <table> <tr> <td>周布小学校</td><td>8：15</td><td>発</td></tr> <tr> <td>若生まなびや館</td><td>9：15</td><td>着</td></tr> <tr> <td>沢登り体験</td><td>9：20～11：50</td><td></td></tr> <tr> <td>昼食</td><td>11：50～12：20</td><td></td></tr> <tr> <td>若生まなびや館</td><td>12：30</td><td>発</td></tr> <tr> <td>周布小学校</td><td>13：30</td><td>着</td></tr> </table>			周布小学校	8：15	発	若生まなびや館	9：15	着	沢登り体験	9：20～11：50		昼食	11：50～12：20		若生まなびや館	12：30	発	周布小学校	13：30	着
周布小学校	8：15	発																		
若生まなびや館	9：15	着																		
沢登り体験	9：20～11：50																			
昼食	11：50～12：20																			
若生まなびや館	12：30	発																		
周布小学校	13：30	着																		
																				
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）																				
周布川調査の単元の一部として、他の学習活動と関連させながら取り組む。 社会の「水はどこから」や、理科の「水の循環」の学習と関連させて学習する。																				
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等																				
自然の豊かさを感じ、自然を大切にしていきたいという思いをもつことができた。																				

学校・園名		浜田市立長浜小学校
学年	教科等	活動名
特別支援学級	生活単元学習 自立活動	さつまいもを育てよう
めあて・目標		・自分たちの畑でさつまいもを栽培する。 ・収穫したさつまいもを販売する。
関係機関・団体等		
活動の概要（期日、場所等を含む）		
さつまいもの苗植え（6月12日） 夏野菜を育てている畑の一角にさつまいも用の畝を作り、苗を植えた。苗を横長に置くことや、葉が見えるように土をかけることを確認して、一人5本程度を植えた。初めて苗植えをする低学年児童も楽しみながら植えることができた。 さつまいもの収穫（10月16日） 全員でツルを取り除くところから作業をした。掘り始めると、いもが家族のように連なったり、集まったりして出てくるので、児童は歓声を上げながら収穫を楽しんだ。 さつまいも屋さんをしよう 収穫したいもを10本ずつまとめて、数を確認した。今年の収穫は268本。数本を蒸して、みんなで味見をした。話し合いをして、「たくさんの人に味わってほしい」という思いから、今年もさつまいも屋さんをすることになり、仕事を分担して準備を始めた。低学年児童を中心に、商品となるさつまいもをきれいに拭いたり、重さを量って、袋詰めをしたりした。高学年児童は店の看板や値段の表示などを作成した。お互いに売る人・買う人になって店の練習をした。 さつまいも屋さんは、参観日の休み時間に開いた。たくさんの保護者が買いに来てくださり、児童も笑顔で接客していた。		
   		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
○さつまいもの栽培を数年継続して行い、児童が見通しを持って活動できるようにする。 ○収穫の喜びを実感できるよう、数を数えたり、試食を行ったりすることで、「収穫したいもを販売したい」という意欲につながるようにする。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
○畑の様子を見に行くたびに、さつまいもの葉の茂り具合や雑草の様子を確認し、生長を楽しみにしていた。 ○収穫したさつまいもを常に見える、ふれられる場に置き、その数や重さを感じながら活動することができた。 ○おいしさをたくさんの人に味わってほしいという願いをもって活動することができた。		

学校・園名		浜田市立三階小学校
学年	教科等	活動名
2	生活科	野あそび、川あそび
めあて・目標		・身のまわりの自然や生き物に関心をもつ。 ・友達と協力して、植物あそびや生き物さがしを楽しむ。
関係機関・団体等		
活動の概要（期日、場所等を含む）		
1 日時 令和2年5月27日（水） 9：15～11：30 2 場所 今井迫川、相生公園 3 活動内容 今井迫川で、川の生き物採取、観察など 相生公園で、野の生き物採取、観察など 4 事前準備 ・場所や活動を知り、めあてをもって、活動に臨むことができるようにする。 ・チームやペアで、協力して生き物採取をすることができるように、道具を準備する。 ・川遊びでは安全に活動することができるように、ライフジャケットを着る。		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・場所や活動を知り、めあてをもって、活動に臨む。 ・チームやペアで、協力して生き物採取をする。 ・活動後、見つけた生き物を図鑑などで調べ、名前や生態を知る。 ・見つけた生き物の発表をし、振り返りをする。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・川や野の生き物に関心を持つ子どもが見られた。 ・川に親しみをもち、環境保全の意識をもった子どもが見られた。		

学校・園名		浜田市立雲城小学校
学年	教科等	活動名
5	総合的な学習の時間	藻塩づくり体験
めあて・目標		地元、浜田の港で海にかかわる仕事について知る活動を通して、ふるさと浜田に対する愛着を深めたり、ふるさとの良さに気づいたりする。
関係機関・団体等		浜田の海で生活する会
活動の概要（期日、場所等を含む）		
令和2年10月8日、浜田港近くの海の交番にて5年生児童27名（支援学級児童2名を含む）が自然体験活動を行った。 金城町の児童は普段からあまり海に行く機会もないが、今回の活動を通して浜田の海の美しさや豊富な資源について知ることができた。 活動では、初めに原料となる「かじめ」のことや、くみ上げる海水の話、昔の藻塩作りの様子についての説明を聞いた。知らないことばかりで、児童は大変興味をもって聞いていた。 その後、グループに分かれて藻塩づくりを行った。カセットコンロ、片手の雪平鍋といった身近な道具から藻塩が作れることにまず驚いていた。 実際の活動では、鍋に海水とかじめを入れ、ひたすら煮込む中で次第に煮汁の色が変化していく様子を興味深く見たり、途中で味見をして「うまみ」を感じたりする姿がみられた。藻塩のおいしさと手軽に作れる工程に感心する児童が多かった。 出来上がった藻塩は、一部を残して自宅に持ち帰り家庭で味わったようだった。 残した一部は、児童が小国で作った米と「おにぎり」にして学校で味わった。小国と藻塩のおにぎりはたいそうおいしく「ふるさとの味」がしたようであった。		
   原料の「かじめ」 身近な調理道具を使って 煮込むと色が変わっていく		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・様々な活動が総合的な学習の時間に連動するように年間計画を立てた。 ・小国米と関連づけた活動にした。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・総合的な学習の時間で学んだ他の活動と関連付けている様子が見られた。 ・浜田の魅力を感じ、もっと知りたい、調べたいという意欲が持てた。		

学校・園名		浜田市立今福小学校
学年	教科等	活動名
1	生活科	秋のなかよし大作戦
めあて・目標		・生き物と触れ合い、世話をする活動を通して、生き物に愛着をもつことができる。 ・夢の音村で見つけた植物を観察したり比べたりしながら、その特徴に気付き、身近な自然を楽しむことができる。
関係機関・団体等		・かなぎウエスタンライディングパーク ・夢の音村 ・久佐公民館
活動の概要（期日、場所等を含む）		
【日時】令和2年10月9日（金）8:40～11:20 【活動場所】「かなぎウエスタンライディングパーク」 「夢の音村」 ○8:50～10:00 「かなぎウエスタンライディングパーク」にて、スタッフの方から馬の説明を受けた後、乗馬やブラッシング体験を行った。 ○10:00～10:30 近くの遊具で自由遊びを行った後、バスで「夢の音村」へ移動。 ○10:30～11:15 管理人の方から、近くで採れた木の実を実際に見せてもらいながら、名前や特徴などの説明を受けた。 その後、児童はツリーハウスの中へ入ったり、周辺で見つけた木の実の採取や観察をしたりして、秋の自然に親しんだ。		
   		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・自然の豊かさを感じられるよう、適した時期を考えて活動計画を立てた。 ・事前に関係機関と打ち合わせを行い、学習のねらいや活動の内容などについて、共通理解を図った。 ・活動に関連のある本（馬や植物など）を教室に置くことで、意欲を高めたり、調べ学習に役立てたりした。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・初めは馬に近づくことを怖がる児童もいたが、話を聞くうちに馬の穏やかで優しい性格を感じ取り、「かわいい。」「目が大きい。」と言いながら、馬に近づいて優しくなでる様子が見られた。 ・夢の音村には、児童がよく知っている植物もあれば、馴染みのない植物もあり、興味津々で触ったり匂ったりしながら植物の観察を行った。 ・活動場所におけるスタッフの方のご協力のもとより、久佐公民館長さんや主事さんも同行してくださり、地域のよさや地域の人々の温かさを感じることでできる活動となった。		

学校・園名		浜田市立波佐小学校
学年	教科等	活動名
全	社会・家庭生活・総合	田植え 稲刈りと脱穀 そぐる 注連縄作り 新米を食べよう会
めあて・目標		社会科、生活科、家庭科、総合的な学習の時間等の時間において、学校田での米作りを行うことにより、地域の人々と直接関わることを通して、ふるさとの自然や生活、歴史は人々の協力によって支えられていること、自然環境と結びついて営まれていること、人々の工夫や努力により守られながら変化していることを理解し、ふるさを大切にする態度を育てる。
関係機関・団体等		公民館
活動の概要（期日、場所等を含む）		
田植え～5月 学校前借用田 ○米作りの大変さを実感し、生産者に対して、感謝の気持ちをもつ。 ○田植えのあと、豆むすびを作って食べることににより田植えの慰労とその年の豊作を祈る。 稲の生長～6月・7月・9月 ○稲の生長を観察し、学年に応じて行う。 稲刈りと脱穀、そぐる体験～10月、12月 ○生産の喜びを体感し、勤労の価値と必要性に気づくと共に進んで奉仕しようとする態度を育てる。 ○自然との関わりを深めると共に、生産活動や生活上必要な習慣や技能を身に付ける。 新米を食べよう会～11月と注連縄作り～12月 ○勤労生産活動で栽培した作物の収穫を喜び合う。 ○自分たちで刈った稲束を利用して、自分だけの注連縄をつくり、今年の感謝と来季への豊作を祈る。		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
毎年行っている活動である。年を重ねるごとに手際よくできるようになり、子どもたち同士教える姿も見られる。今年度は、コロナ禍のために地域の方が見守ったり保育園の田植え囃子の応援がなかったりしたが豆むすびを作って食べることができた。また、自分の刈り取った稲束をそぐり、注連縄を作ることができた。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
米作りに対する思いをより強くもつことができた。今後も地域住民との交流活動の1つとして継続して行っていきたい。		

学校・園名		浜田市立波佐小学校
学年	教科等	活動名
全	体育	スキー教室
めあて・目標		○6年間を通してスキーの技能を習得する。 ○雪の上で楽しく活動し、元気な体をつくる。 ○助け合う気持ち・挑戦する気持ちを育てる。 ○ふるさとの自然の恩恵や地域の方々の支援・協力に感謝する心を育てる。
関係機関・団体等		金城スキー山岳会
活動の概要（期日、場所等を含む）		
○期日及び場所 期日：令和3年 1月19日（火） 場所：大佐スキー場（広島県山県郡北広島町荒神原） ○グループ分け Aグループ スキーになれているコース （これまでに身に付けた技能を使ってコースでの滑走を楽しむ） Bグループ スキーの発展的な技能を高めるコース （スキーの基礎練習、技能を高め、滑走を楽しむ） Cグループ スキーの基礎的な技能を高めるコース （スキーの基礎的な技能を使って滑走を楽しむ）		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
スキー教室実施規定を遵守することはもちろん、職員行動表に沿って安全第一を考えて行った。あいさつ、レストランでのマナー、感謝の気持ちを持つことについて特に指導した。当日は、新型コロナウイルス感染症対策として、スキー教室時以外は、マスクを着用したり、バスに乗り降りする時には小毒素したりして楽しい一日を過ごすことができた。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
スキー山岳会の講師の方は、波佐小出身者であり、当時の様子や先輩としてスキーの楽しさを伝えながら、安全第一に臨んでくださった。はじめは怖がっていた児童も、講師の言われることをよく聞いて午後からは全員がリフトを経験し滑走を楽しむことができた。3年ぶりとはいえ、波佐ならではの貴重な経験をすることができた。		

学校・園名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	活動名
2	生活科	川の生き物を見つけよう
めあて・目標		動物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、親しみを持って生き物を大切にしようとするができるようにする。
関係機関・団体等		八戸川漁業協同組合
活動の概要（期日、場所等を含む）		
<u>川の生き物に詳しい人の話を聞く</u>： 令和2年7月9日（木） 八戸川漁協組合長にゲストティーチャーとして来ていただき、話を聞いたり、質問をしたりした。 (1) 八戸川の位置、山に囲まれた地理的条件、児童の生活する場所との距離や学校近くを流れる川との関係などについての説明を聞いた。 (2) 八戸川の流域に住む人が八戸川とどのようにかかわってきたか、例として組合長が子どもの頃に川でよく遊んでいたことなどについての話を聞いた。 (3) 八戸川に棲む生き物について魚、虫などの種類や生態について、写真とともにクイズ形式で紹介していただいた。児童もこれまでに触れていたり、知っていたりする生き物について話した。 (4) 川で生き物を採集するための漁具などを見せていただいたり、実際に触らせてもらったりした。 (5) お話を聞いて、わかったことや感想を書き、伝え合った。 <u>川に出かけて生き物を採集する</u> 新型コロナウイルス感染症対策のため、中止した。		
		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
- 川で遊んだ経験のある児童は少ないので、事前にゲストティーチャーと打合せをし、写真や実物を多く用意していただいた。 - 感染症対策のため、実際に川に出かけて活動することはできなかったが、資料を使って事後の指導をしたり、校内で飼育している川魚を観察したりして、イメージを持たせるようにした。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
- 図書館で水棲生物に関する本を借りて読むなど、児童の川の生き物に対する関心が高まった。 - 校内で飼育する水棲生物の種類を増やしたり、児童の水槽を教室の近くに設置したりして、より身近に感じさせたい。		

学校・園名		浜田市立弥栄小学校
学年	教科等	活動名
全	教科外	子どもの遊び場
めあて・目標		銀杏の木のブランコやロープを使った綱渡りなど豊かに外遊びを体験する。
関係機関・団体等		なし
活動の概要（期日、場所等を含む）		
○手作り綱渡り ・10月30日手作り綱渡りを設置し、休み時間にたくさんの子どもたちがチャレンジした。  ○手作りブランコ ・11月2日から11月20日まで校庭の銀杏の木に手作りブランコを設置し、落ち葉と共にたくさんの子どもたちが楽しんだ。 ○ブランコと同時期に鉄棒や雲梯をロープでつなぎ、好みに遊べるような場を作った。  		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・リスクマネジメントの徹底 ロープのゆるみや傷がないか、ほぼ毎日確認した。綱渡りでは転倒の危険があるため、教師が近くに付き、安全を確保しながら楽しめるようにした。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・イチョウの葉一面の校庭と、その中で豊かに遊ぶ子どもたちの姿が見られた。鉄棒の間をつないだロープでは、友達と競いながら伝わるだけでなく、ロープで逆上がりをするなど、新しい遊び方をつくっていた。		

学校・園名		浜田市立三隅小学校
学年	教科等	活動名
2	生活科	大きくなあれ わたしの野さい
めあて・目標		身近な野菜の栽培に関心をもち、自分たちで調べたり人に聞いたりしながら大切に世話をする中で、成長していることに気付くとともに、愛着をもって継続的に育てることができるようにする。
関係機関・団体等		
活動の概要（期日、場所等を含む）		
5月	夏野菜の苗を決める 水やり・観察	
6月	サツマイモの苗植え 野菜の調べ学習	
7月	ピーマン・トマト・オクラ キュウリ・エダマメの収穫	
8・9月	スイカ・ナスの収穫	
10月	サツマイモの収穫	
11月	焼き芋パーティー 大根とカブの種まき	
3月	大根とカブの収穫	
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・一人1種類、野菜を決めて育て、野菜の特徴や育て方を図書館で調べる。 ・観察記録を書くとともに、草取りなど畑の管理も子ども達が行う。 ・収穫した野菜は、各家庭に持って帰ったり、学級で試食したりする。 ・サツマイモは1年生を招待して、焼き芋パーティーを実施する。 ・収穫後、野菜の苗を用意してもらった地域の野菜農家の人へお礼の手紙を書く。 ・発展として、冬野菜も種まきから挑戦する。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・自分で育てた野菜の成長や変化に関心をもち、収穫の喜びを味わった。 ・コロナの影響で、学校での調理活動はできなかったが、各家庭で味わってもらうことで、より関心が高まった。 ・草取りや畑の後始末まで自分たちで活動することで、自然の中で育てる苦労も経験することができた。		

学校・園名		浜田市立岡見小学校
学年	教科等	活動名
特別支援学級	自立活動	染物をしよう
めあて・目標		身近にある植物で染物をするを通して、自然に興味を持とう。また、それらの活動を通してコミュニケーションを図ろう。もっと仲良くなりたい気持ちを伝えるために染物を友達に贈ろう。
関係機関・団体等		
活動の概要（期日、場所等を含む）		
○期日：9月～3月 場所：岡見小 ○活動内容 ・染物ができる植物を調べ、いろいろな種類の植物が染物に使われることを知った。 ・毎日マリーゴールドの花を摘んで集めた。 ・学校で育てているマリーゴールドを使って染物をした。 ・染め方を調べ、「酢で染める方法」「煮て染める方法」を試し、染め方の種類や染まり具合を比較した。 ・どのような模様がつけられるのか調べ、輪ゴムや割りばし、ビー玉、カプセルを使って模様をつけた。 ・染物をコースターにして販売したり、巾着やハンカチにして友達に贈ったりした。 ・染物活動を5、6年生と一緒にに行った。		
 		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
・身近にある植物で染物ができるという新たな発見に繋がった。		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
・植物を使って染物ができると知り、染物ができるようになった。 ・マリーゴールド以外の植物でも染物ができると興味を持ち、図書室で調べるなど探求心を沸かせることにつながった。 ・今後取り組む場合は、ほかの植物でも染めることができるとよい。 ・今年度はコロナ禍のため、外へ出て植物を探したり、地域の方との交流をしたりはできなかった。今後は学校周辺にある植物の花や葉を使って染物をし、自然に親しませていきたい。		